

診療情報および検体（試料）を利用した臨床研究について

虎の門病院病理診断科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報・検体（試料）を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2001年1月1日～2016年12月31日の間に、クッシング病のために虎の門病院間脳下垂体外科に入院・通院し、手術を受けられた方

【研究課題名】

ACTH産生下垂体腺腫の臨床病理学的検討

【研究の目的・背景】

ACTH産生下垂体腺腫においては、1)他のホルモン産生腺腫よりも悪性化するものが多いこと、2)Oncocytic changeを呈するACTH産生腺腫に再発例が多いこと、3)術前薬物治療が行われた場合、腫瘍細胞の細胞骨格に変性があることを経験しています。しかし、これからの明確な結果は現在のところ得られていないため、本研究ではこれらの病理組織学的特徴が正しいかを検証します。

【研究のために診療情報・検体（試料）を解析研究する期間】

2018年5月10日～2019年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院病理診断科井下尚子のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報・検体（試料）を虎の門病院外へ提供する場合】

本研究においては、他施設への診療情報および検体の提供はありません。

【利用する診療情報・検体（試料）】

診療記録、MRI 画像データ、採血結果、病理組織

【研究代表者】

虎の門病院 病理診断科 井下尚子

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 病理診断科 井下尚子

【利用する者の範囲】（全列記）

虎の門病院 間脳下垂体外科 西岡宏

虎の門病院 間脳下垂体外科 福原紀章

虎の門病院 内分泌代謝科 竹内靖博

虎の門病院 内分泌代謝科 竹下章

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報・検体（試料）の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報・検体（試料）が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2019年2月28日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 病理診断科 井下尚子

電話 03-3588-1111(代表)